

感染者を1人でも増やさないために

市内でも再び感染者が急増している『新型コロナウイルス感染症』。今月の特集では、現在の状況と、万が一感染した場合の支援について改めてお知らせします。

『第6波』の到来

令和3年11月以降、しばらく落ち着いた状況であった新型コロナウイルスの感染者が令和4年1月になってから急増しています。

今回の感染者の急増が流行の『第6波』だと考えられており、十分な警戒が必要です。

市内の感染状況

感染者の急増は深谷市内でも例外ではなく、令和3年10月〜12月の3カ月間で19人だった感染者が令和4年1月になってからの21日間で145人と急増しています。ワクチン接種を2回済ませたかたも多くりましたが、ワクチン

は感染した際に重症化を防ぐものであり、完全に予防できるわけはありません。引き続き、一人ひとりが基本的な感染予防対策などを再確認し、徹底してください。

もし、発熱したら

感染予防対策をしても感染する可能性があります。もし、発熱した時には、感染を拡大しないためにも、まずはかかりつけ医に相談してください。かかりつけ医で対応できない場合には県の『埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム』から医療機関を検索し、必ず事前に予約の上、受診をしてください。

埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム

<https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/>

右のQRコードからアクセスして医療機関を検索してください。



受診先の確認・受診を迷う場合

■埼玉県受診・相談センター(午前9時～午後5時30分 土・日曜日、祝日も対応)
☎048 - 762 - 8026・☎048 - 816 - 5801

引き続き感染予防対策にご協力をお願いします



特集 新型コロナウイルス感染症 感染者を1人でも増やさないために

新型コロナウイルスの感染により 自宅で療養するかたへの支援

サービスの申し込み・問い合わせ先 深谷市社会福祉協議会 (☎070 - 7579 - 4581、4582)
受け付け時間 午前9時～午後2時 (年中無休)

感染予防対策をしても、誰もが感染する可能性があります。市では新型コロナウイルスに感染し、自宅で療養をするかたへ下記の支援を実施しています(すべて無料)。

詳しくは右のQRコードから市ホームページをご覧ください、内容を確認の上、お問い合わせ・お申し込みください。



■食料品、日用品のお届け

新型コロナウイルスに感染し、保健所から自宅療養を指示されたかたおよび同居する家族を対象に、自宅に食料品、日用品をお届けします。



▲食料品 (イメージ)



▲日用品 (イメージ)

■ごみの回収

自宅療養中のごみ出しができないかたの自宅に、週1回ごみ(可燃ごみのみ)の回収に伺います。

■キャンピングカーの貸し出し

感染したかた(陽性者)と感染していないかた(濃厚接触者など)が自宅内で居住スペースを分けることが難しい世帯へ、療養スペースとしてキャンピングカーを貸し出します。

■パルスオキシメーターの貸し出し

自宅療養者の健康状態を把握するために重要なパルスオキシメーターを必要なかたへ貸し出します。

※深谷市と埼玉県は『新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に係る連携事業に関する覚書』を締結しました。これにより、市内で自宅療養されるかたの情報が市に提供されることとなり、迅速な支援ができるようになりました。

12歳未満のかたへのPCR検査(簡易検査)キットの無償配布

問い合わせ先 福祉政策課 (☎568 - 5041)

新型コロナウイルスワクチンの接種対象とならない12歳未満のかたを対象にPCR検査(簡易検査)キット(採取した唾液で判定する簡易検査キット。検査費用は無料)を無償で配布します(1人につき1回限り)。

申し込み方法や必要書類など詳しくは右のQRコードから市ホームページをご覧ください。



▲PCR検査キット

埼玉県PCR検査等無料化事業

問い合わせ先 埼玉県 検査無料化 相談窓口 (☎0570 - 200 - 607)
受け付け時間 午前9時～午後10時 (土・日曜日、祝日も対応)

県では、健康上の理由(基礎疾患や副反応等)などにより、新型コロナウイルスワクチンが接種できない無症状のかたが、『ワクチン・検査パッケージ』などのために必要となる検査(PCR検査・抗原定性検査)を無料化しています。

昨年末からの感染拡大に伴い、令和3年12月28日からは、感染リスクが高い環境にあるなど感染に不安を感じる無症状の埼玉県民は、県内の一部薬局・ドラッグストアで無料で検査を受けられるようになりました。無料で検査を受けるには条件や必要な持ち物があります。詳しくは右のQRコードから県ホームページをご覧ください。



※新型コロナウイルスワクチン関連情報については20ページをご覧ください。

市民だからこそ知ってほしい

深谷の暮らしやすさ

特集 市民だからこそ知ってほしい 深谷の暮らしやすさ

ごみの収集 燃やせるごみは週4日収集

週5日

深谷市ではごみの収集を週5日行っています。特に家庭から出る量が多い『燃やせるごみ』は祝日を含めて週4回収集しています。近隣の多くの市が週2回収集なのに対して、圧倒的に上回っています。

平均通勤時間

深谷市 **25分**

埼玉県 **44分**

深谷市民の勤務先への通勤時間は平均25分でした。これは埼玉県内平均の44分と比較すると通勤にかかる時間が少なく、その分、ワークライフバランスのとれた生活が送れます。
※平成28年 社会生活基本調査

幼稚園・保育園など

56園

深谷市には公立4園、私立32園、認定こども園2園、合わせて38園の保育園があります。また小規模保育室は9園あります。さらに、市内には公立の幼稚園が8園、私立が1園あり、子育ての安心感と選択肢が広がっています。
※令和3年4月時点

学童保育室

32室

深谷市では、公立、私立あわせて全32の学童保育室があり、すべての小学校の敷地内（隣接含む）に学童保育室が設置されています。まち全体で放課後の児童の安全と保護者の安心を確保しています。
※令和3年4月時点

公立幼稚園・小学校・中学校の耐震化率、エアコン設置率

100%

深谷市では県内他市に先駆けて市内すべての公立幼稚園、小・中学校の耐震化工事が完了しています。また普通教室のエアコン設置率も100%を達成し、児童生徒のための快適な学習環境が整っています。



市民の定住意向

10年連続 90%をキープ!

93.0%

令和2年 深谷市民まちづくりアンケート

意外と知らない『深谷』の良さと
市が毎年実施している『深谷市民まちづくりアンケート』の調査によると、市民の定住意向（深谷市に住み続けたい意識）は10年連

豊かな生活？
深谷市

今月の特集では、そんな市民の皆さんにこそ知ってほしい『深谷の良さと暮らし』をお知らせします。これを読んで、知っているようで知らなかった、周囲に自慢したくなる新しい『深谷』を知ってみませんか？

続90%超という高水準を維持しています。
深谷といえば、『ネギ』をはじめとした農産物、『渋沢栄一翁』『ぶっかちゃん』などが有名ですが、この他に『深谷の』ここが優れている、『すず』と言えるものは何か思い浮かぶますか？

他にもこんな子育てサポート！

18歳まで医療費補助
通院も入院も原則、医療費が無料

保育園などの第3子以降の保育料無料
多子世帯の経済的負担を軽減



深谷市 移住ブック 検索

今回、お知らせした内容のほか、深谷の魅力をもとめた『深谷市移住BOOK』を作成し、協働推進課（本庁舎2階21番窓口・574-6658）で配布しています。
以前から深谷に住んでいる人だけでなく、実際に移住してきたかたへのインタビューも行い、移住してきた感想なども掲載しています。
ホームページで電子版も公開していますので、下のQRコードを読み取り、ぜひご覧ください。



日照時間

快晴日数 全国1位

10年で快晴日が567日

埼玉県北部（観測地：熊谷市）の快晴日数は過去10年で合計567日となり、全国ナンバーワンです。この良好な日照を活かして、自宅に太陽光発電設備を備え、売電と環境負荷の低減に取り組む市民も多くいます。
※2009年～2018年までの快晴日数の合計。気象庁調べ

